

平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 株式会社ディーバ  
 コード番号 3836 URL <http://www.diva.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森川 徹治  
 (氏名) 春日 尚義

TEL 03-5782-8600

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	810	18.4	79	—	74	—	38	—
23年6月期第1四半期	684	—	△80	—	△84	—	△72	—

(注) 包括利益 24年6月期第1四半期 37百万円 (—%) 23年6月期第1四半期 △73百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	16.61	—
23年6月期第1四半期	△31.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第1四半期	2,875	1,378	47.9
23年6月期	2,836	1,352	47.7

(参考) 自己資本 24年6月期第1四半期 1,378百万円 23年6月期 1,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年6月期	—	—	—	—	—
24年6月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,625	13.7	20	—	10	—	6	—	2.56
通期	3,610	15.1	200	44.7	180	48.4	108	324.4	46.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期1Q	2,347,000 株	23年6月期	2,347,000 株
② 期末自己株式数	24年6月期1Q	79 株	23年6月期	79 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期1Q	2,346,921 株	23年6月期1Q	2,326,956 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（以下、当第1四半期）におけるわが国経済は、東日本大震災により広範囲にわたり多大な影響を受け、非常に厳しい状況で推移いたしました。ようやく、一部に持ち直しの動きが見られ始めたものの、欧州における財政危機の影響や依然として続く円高等、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

ソフトウェア・情報サービス業界におきましても、企業のIT投資に対する慎重な姿勢が継続している中で、特に当社グループの中心となる財務・連結会計ソリューション事業においては、金融担当大臣の日本でのIFRS（国際財務報告基準）の強制適用の判断及びその適用時期の延期に関する発言にともない、一部のお客様にプロジェクトの延期や中断を含む見直しの動きが見られ、当社グループを取巻く事業環境は厳しいものとなっております。

かかる状況下、当社グループといたしましては、前期より推進しております生産性の向上とコスト削減に加え、特に既存のお客様のニーズを的確に把握し、それに徹底的に responding していく方針の下、財務連結会計の分野にとどまることなく、① 新製品GEXSUSの活用による企業グループ内の会計基準の統一、② 管理連結・連結経営管理、並びに③ 決算業務を一括して引き受けるアウトソーシングなど前期に立ち上げた事業領域におけるソリューションを採り入れることで提案の幅を広げる一方で、パートナー企業との関係強化による販売チャンネルの拡大を通じて受注獲得に努めた結果、先進的にグループ経営を推進されるグローバル企業のお客様からIFRS対応も含めた大型案件などを受注することができました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高810,994千円（前年同期比18.4%増）、営業利益79,402千円（前年同期は80,754千円の損失）、経常利益74,196千円（前年同期は84,826千円の損失）、当四半期純利益38,984千円（前年同期は72,190千円の損失）となりました。

事業形態別の売上高の状況は以下のとおりです。

## &lt;ライセンス販売&gt;

新規案件数は伸び悩んだものの、前期より取組んでいるパートナー企業との関係構築・強化等による大型案件の受注などにより、ライセンスの売上高は、144,354千円（前年同期比55.6%増）となりました。

## &lt;コンサルティング・サービス&gt;

前期第4四半期にライセンス出荷された新製品GEXSUSの導入支援サービスや、当第1四半期に新規受注した大型案件の要件定義サービス等、案件数・案件規模共に順調に拡大しており、コンサルティング・サービスの売上高は246,213千円（前年同期比23.7%増）となりました。

## &lt;サポート・サービス&gt;

国内上場会社数の減少と顧客の低価格志向等の圧力はあるものの、製品の追加販売による顧客当たり保守料増加やサポート業務の顧客満足度向上に注力することで顧客基盤の安定・強化に努めた結果、サポート・サービスの売上高は372,456千円（前年同期比9.8%増加）となりました。

## &lt;情報検索サービス&gt;

検索機能の拡張等により顧客基盤の安定・強化に努めましたが、契約の長期継続を条件に、大口顧客からの価格引き下げ要請の影響もあり、情報検索サービスの売上高は47,970千円（前年同期比10.7%減）となりました。

なお、当第1四半期の受注及び販売の状況は、次のとおりとなっております。

## ① 受注状況

(単位:千円 [単位未満切捨て])

	前年同四半期		当第1四半期		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ライセンス販売	92,798	—	144,354	—	51,555	—
コンサルティング・サービス	180,394	337,896	395,958	553,848	215,563	215,951
サポート・サービス	240,287	481,333	306,380	531,348	66,093	50,014
情報検索サービス	43,628	37,018	67,783	64,777	24,155	27,759
合計	557,108	856,247	914,477	1,149,974	357,368	293,726

## ② 販売実績

	前年同四半期	当第1四半期	増減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
ライセンス販売	92,798	144,354	51,555	55.6
コンサルティング・サービス	199,077	246,213	47,136	23.7
サポート・サービス	339,134	372,456	33,321	9.8
情報検索サービス	53,721	47,970	△ 5,750	△ 10.7
合計	684,732	810,994	126,262	18.4

(注) 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の資産合計は、2,875,746千円（前連結会計年度末比39,305千円増加）となりました。これは主に、現金及び預金の増加166,837千円と売掛金の減少115,113千円により流動資産が66,305千円増加した一方、ソフトウェアの減少14,623千円などにより固定資産が26,683千円減少したことによるものです。

負債合計は、1,496,836千円（前連結会計年度末比13,125千円増加）となりました。これは主に短期借入金の増加100,000千円と引当金の増加11,158千円、未払金及び未払費用の減少45,806千円と前受収益の減少48,575千円などにより、流動負債が23,380千円増加したことによるものです。

また、純資産合計は1,378,910千円（対前連結会計年度末比26,180千円増加）となりました。これは主に、四半期純利益38,984千円の計上と剰余金の配当11,734千円によるものです。自己資本比率は47.9%（前連結会計年度末は47.7%）であり、安定的な財務バランスを保っているものと考えております。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ166,837千円増加し、1,711,054千円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は104,101千円となりました。（前年同四半期は1,219千円の使用）

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益74,196千円、売上債権の減少額115,005千円であり、支出の主な内訳は、未払金及び未払費用の減少額47,495千円、前受収益の減少額48,575千円等です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は8,734千円となりました。（前年同期比114,454千円の減少）

支出の内訳は、有形固定資産の取得による支出8,734千円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は72,791千円となりました。（前年同四半期は21,265千円の使用）

収入の内訳は短期借入による収入100,000千円であり、支出の主な内訳は、ファイナンス・リース債務の返済による支出6,965千円、配当金の支払額11,734千円等です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期（累計）及び通期業績につきましては、平成23年7月29日に発表いたしました業績予想からの変更は現在のところありません。

なお、当第1四半期連結累計期間の業績の進捗は、見通しを上回って推移しておりますが、当社の予定していた新規事業及び新製品開発への戦略的投資支出に一部遅れが生じていることによる費用の減少を主な要因としているほか、急激な円高や欧米経済の動向などマクロ要因や海外の重要な生産拠点における自然災害などの特殊要因の影響を受け、お客様の投資動向は今なお非常に不安定との認識をしており、現在予定されている受注時期及び検収時期を今後変更される可能性も否定できないことから当期の業績予想については、目下、保守的な観点で検討・精査中であり、従いまして、現時点では無用な混乱を回避するため業績予想の修正は行わず、その必要があると判断される場合に速やかに適時開示することといたします。

※ 上記は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結累計期間より、当社100%出資により新たに設立した株式会社ディーバ・ビジネス・イノベーション（特定子会社には該当しない）を連結範囲に含めております。これにより、連結子会社の数は従来の2社から3社となっております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,544,216	1,711,054
受取手形及び売掛金	521,729	406,616
仕掛品	100,351	126,844
原材料及び貯蔵品	9,500	9,500
その他	99,473	87,563
流動資産合計	2,275,271	2,341,577
固定資産		
有形固定資産	173,844	165,837
無形固定資産		
のれん	3,828	3,190
ソフトウェア	123,844	109,220
その他	778	753
無形固定資産合計	128,452	113,165
投資その他の資産		
敷金及び保証金	191,984	191,984
その他	61,299	57,909
投資その他の資産合計	253,283	249,894
固定資産合計	555,580	528,896
繰延資産		
社債発行費	5,588	5,272
繰延資産合計	5,588	5,272
資産合計	2,836,440	2,875,746
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,122	22,799
短期借入金	—	100,000
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	5,000	2,500
未払金及び未払費用	201,828	156,021
未払法人税等	14,189	20,469
前受収益	674,508	625,932
賞与引当金	—	5,730
役員賞与引当金	—	1,000
受注損失引当金	5,043	9,471
その他	97,737	119,885
流動負債合計	1,120,430	1,143,810
固定負債		
社債	285,000	280,000
資産除去債務	67,220	67,382
その他	11,060	5,643
固定負債合計	363,280	353,025
負債合計	1,483,710	1,496,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	288,400	288,400
資本剰余金	225,200	225,200
利益剰余金	842,598	869,848
自己株式	△56	△56
株主資本合計	1,356,141	1,383,391
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△676	△1,152
為替換算調整勘定	△2,735	△3,328
その他の包括利益累計額合計	△3,411	△4,480
純資産合計	1,352,729	1,378,910
負債純資産合計	2,836,440	2,875,746

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## (四半期連結損益計算書)

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	684,732	810,994
売上原価	407,064	399,179
売上総利益	277,667	411,815
販売費及び一般管理費	358,421	332,412
営業利益又は営業損失(△)	△80,754	79,402
営業外収益		
受取利息	227	144
その他	38	—
営業外収益合計	265	144
営業外費用		
支払利息	1,125	1,560
支払手数料	2,602	2,591
その他	609	1,198
営業外費用合計	4,337	5,350
経常利益又は経常損失(△)	△84,826	74,196
特別利益		
保険解約返戻金	16,564	—
特別利益合計	16,564	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44,250	—
特別損失合計	44,250	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△112,512	74,196
法人税、住民税及び事業税	1,404	20,385
法人税等調整額	△41,726	14,826
法人税等合計	△40,321	35,212
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△72,190	38,984
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△72,190	38,984

## (四半期連結包括利益計算書)

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△72,190	38,984
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△295	△475
為替換算調整勘定	△604	△593
その他の包括利益合計	△900	△1,068
四半期包括利益	△73,091	37,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,091	37,915
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△112,512	74,196
減価償却費	23,097	34,515
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44,250	—
のれん償却額	638	638
引当金の増減額(△は減少)	△58,148	11,158
受取利息及び受取配当金	△227	△144
支払利息	1,125	1,560
支払手数料	2,602	2,591
社債発行費償却	—	316
売上債権の増減額(△は増加)	127,325	115,005
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,802	△26,492
仕入債務の増減額(△は減少)	12,514	△19,323
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	98,088	△47,495
前受収益の増減額(△は減少)	△114,387	△48,575
その他	△12,437	19,495
小計	1,127	117,446
利息及び配当金の受取額	227	144
利息の支払額	△1,246	△904
法人税等の支払額	△1,327	△12,584
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,219	104,101
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,915	△8,734
無形固定資産の取得による支出	△5,022	—
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
保険積立金の解約による収入	43,163	—
敷金及び保証金の差入による支出	△149,415	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,188	△8,734
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△2,500	△2,500
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,689	△6,965
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
支払手数料の支出	△1,019	△1,008
自己株式の取得による支出	△56	—
配当金の支払額	—	△11,734
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,265	72,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,165	△1,321
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△146,839	166,837
現金及び現金同等物の期首残高	1,280,272	1,544,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,133,433	1,711,054

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。